



エネファーム補助金の募集がスタート 既存住宅を優遇

一般社団法人燃料電池普及促進協会は2月20日、2014年度補正予算の「民生用燃料電池導入支援補助金」の募集を開始した。締め切りは3月31日まで。従来の制度と異なり、新築と既存住宅で補助金額の上限に差をつけた。既存住宅に設置する場合、新築よりも上限が5万円高く設定されている。補助金の上限額は、固体高分子形(PEFC)は既存住宅が35万円、新築が30万円、固体酸化物形(SOFC)は既存住宅が40万円、新築が35万円。

情報提供：新建ハウジング

省施工・短工期で天井耐震化が可能 新耐震天井工法を提案開始

※参考：高耐久工法の開発から、ダイケンハイブリッド天井



大建工業株式会社は、3月より、公共施設や商業施設を対象に、省施工・短工期で天井の耐震化が可能な、独自の新耐震天井工法「ダイケンハイブリッド天井」の提案を開始いたします。「ダイケンハイブリッド天井」は、吊りハンガーで上階の躯体から吊るしたメインバーに、クロスバーを両側から差し込んで格子を形成、これを天井仕上げ材の張り付け下地とし、天井仕上げ材としてロックウール吸音板「ダイロートン」等を直張りする工法です。システム天井のように強固にかみ合ったバー材による格子が、天井下地面の剛性(変形しにくさ)を高めることから、在来工法天井において耐震性能を向上させるため部材同士を緊結する補強金物の取り付けや、嵌合部のビス留め固定などの対応をすることなく、高い耐震性能を確保することが可能です。補強金物の施工や、嵌合部の緊結手間を省くことで、工期の大幅短縮が可能のため、復興事業や東京オリンピック特需などで建設業者が不足する中、建築物の天井耐震化促進に貢献するとともに、軽量で吸音性能に優れたロックウール吸音板「ダイロートン」のさらなる拡販につなげたい考えです。

情報提供：大建工業

集合住宅用「換気機能付玄関ドア」を発売

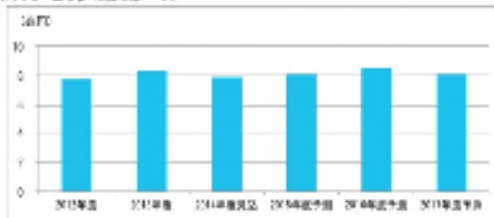


YKK AP株式会社は、集合住宅用「換気機能付き玄関ドア」を2015年2月27日に発売します。集合住宅用「換気機能付き玄関ドア」は、玄関ドアに換気機能を組み込み、扉を施錠したままでも風が通る構造の商品です。集合住宅ではバルコニーから玄関に風を通し、生活臭・タバコ臭・ペット臭などを解消した快適な環境が望ましい反面、防犯やプライバシーなどの面からドアを開け放ちにくいのが現状です。近年では省エネへの関心の高まりから、自然の風を積極的に取り入れたいご要望も増えているため、玄関からバルコニーへ風を通し、快適な室内環境の実現に貢献します。また、新築物件だけでなく、集合住宅玄関ドアのリフォーム用にも対応するとともに仕様を限定せず、全てのデザインバリエーションに展開しています。「換気機能付き玄関ドア」は、フレキシブルで多彩なデザインを選択できるハイクラス商品「R'sSDX(アールズエスディエックス)」、美しさと機能性を併せもつ基幹商品「EXIMA80St(エクシマ ハチジュウ エステイ)」の2シリーズでご提案します。

情報提供：YKKAP

富士経済がリフォーム市場予測 16年度まで拡大続くか

◆事例1：リフォーム市場(全国平均ベース)



富士経済はこのほど、国内の住宅リフォーム市場を調査し結果を「2015年版 新・住宅リフォーム市場の全貌とビジネス戦略分析」にまとめた。調査時期は2014年10～12月。元請業態別のリフォーム市場とリフォーム部材市場を分析して今後を予測した。それによると、2013年度のリフォーム市場規模は、増税前の駆け込み需要により前年度比7.0%増の8兆3365億円に。すべての業態が実績を伸ばし、とくにハウスメーカー系、ゼネコン/デベロッパー系、リノベーション系、小売系、住設建材系は2桁増だった。14年度は、駆け込み需要の反動減により7兆8735億円と予測。

そのなかでもハウスメーカー系と小売系は引き続き伸びるとした。15年度は前年度比プラス、16年度は再増税前の駆け込み需要により拡大が続くものの、17年度には反動減による縮小を予想。13年度と比較して17年度に実績を伸ばしているのは、ハウスメーカー系、小売系、リノベーション系、住設建材系の4業態にとどまると分析。一方で、住宅ストックの増加や国の施策拡充によりリフォーム事業への人的・金銭的投資が活発に行われ、17年度も市場は8兆円を維持すると予測する。また、注目業態であるリノベーション系については、消費増税の影響で14年度は縮小を見込むものの、中古住宅への一次取得層の需要が高まっていること、参入事業者の増加により15年度以降は拡大が予想されるとした。

情報提供：新建ハウジング